

国語

中学1年

発展編

本書の構成と特色

- 全体の構成 このテキストは、一学年の一学期までに学んだ事柄を、精選された素材によって、合理的かつ総合的に学習できるように編集してあります。
- 単元の構成 一つの単元は、要点チェック⇒確認問題⇒練成問題の順に構成してあります。なお、要点チェックは、各単元ごとではなく、客観事項の確認の必要性、あるいは、読解において必要かつ有益と思われる知識のある単元に配してあります。
- ◆ 要点チェック……問題を解くうえで不可欠と考えられる実用的な知識や、内容やテーマを速く正確に把握するための知識が確認できるようにしてあります。
- ◆ 確認問題・練成問題……基本的な問題の量・素材と問題の難易度により、確認問題・練成問題とに分けてあります。また、真の理解力と表現力を養うために、記述問題を多く配してあります。

CONTENTS

1 漢字・語句	2	6 詩	22
2 小説(1)	6	7 随筆	26
3 小説(2)	10	8 古典・短歌・俳句	30
4 論説文(1)	14	9 文法	34
5 論説文(2)	18	10 総合問題	37

1 漢字・語句

■学習日 /

要点チェック

(1) 次のそれぞれの漢字の成り立ちの説明にあてはまるものを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□① 文字——目に見える物の形をかたどったもの。(木)

□② 文字——形で表せない物事を点や線で表したもの。(本)

□③ 文字——二つ以上の文字を組み合わせて、それらの意味を合わせて新しい意味を表したもの。(森)

□④ 文字——二つ以上の文字を組み合わせて、一方が意味、他方が音を表したものの。(板)

□⑤ 文字——意味が転じたもの。(楽^{ガク}⇨音楽⇨楽^{ラク}⇨楽しい)

□⑥ 文字——意味と無関係に音を借りて使われるもの。(巴^{パリ}里)

ア 仮借^{かしゃ} イ 指事 ウ 会意
 エ 形声 オ 象形 カ 転注

(2) 次のそれぞれの熟語の組み立ての説明にあてはまるものを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□① 類義語どうし—— □

□② 対義語どうし—— □

□③ 上が主語、下が述語—— □

□④ 述語+目的語・補語(を・に)—— □

□⑤ 修飾語+被修飾語—— □ □⑥ 上が下を否定—— □

ア 不便 イ 美女 ウ 貧富
 エ 豊富 オ 国立 カ 登山

確認問題

1 次のそれぞれの漢字の成り立ちを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) 岩 □(2) 星 □(3) 山 □(4) 畑 □(5) 銅

□(6) 末 □(7) 鳥 □(8) 沖 □(9) 中

ア 象形 イ 指事 ウ 会意 エ 形声

- (1) □
- (2) □
- (3) □
- (4) □
- (5) □
- (6) □
- (7) □
- (8) □
- (9) □

2 次のそれぞれの熟語の組み立てを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) 呼吸 □(2) 日没 □(3) 失明 □(4) 定価

□(5) 帰還 □(6) 難易 □(7) 単独 □(8) 地震^{じしん}

ア 類義語どうし イ 対義語どうし ウ 修飾語+被修飾語
 エ 上が主語、下が述語 オ 述語+目的語・補語

- (1) □
- (2) □
- (3) □
- (4) □
- (5) □
- (6) □
- (7) □
- (8) □

3 次のそれぞれの熟語の読み方を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) 歩合 □(2) 役目 □(3) 裏作 □(4) 野宿

□(5) 七夕 □(6) 楽屋 □(7) 夜店 □(8) 牛肉

ア 音音読み イ 訓訓読み ウ 熟字訓(特別な訓読み)
 エ 重箱読み^{じゅうげん} オ 湯桶読み^{ゆづく}

- (1) □
- (2) □
- (3) □
- (4) □
- (5) □
- (6) □
- (7) □
- (8) □

4 次のそれぞれの漢字の部首名を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 雑 □(2) 快 □(3) 勸 □(4) 郷 □(5) 補
- (6) 題 □(7) 敵 □(8) 庁 □(9) 臓

- ア まだれ イ がんだけ ウ ふるとり
- エ おおがい オ しめすへん カ あくび(けんづくり)
- キ にくづき ク りっしんべん ケ こぎとへん
- コ おおざと サ ころもへん シ るまた(ほくづくり)
- ス ちから セ のぶん(ほくづくり・ほくにょう)

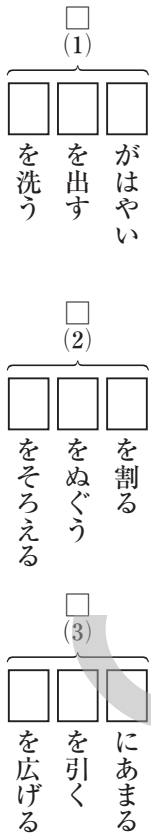
(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)
(9)

5 次のそれぞれの漢字の総画数を漢数字で答えなさい。

- (1) 引 □(2) 為 □(3) 陰 □(4) 殻 □(5) 乾
- (6) 幾 □(7) 襲 □(8) 随 □(9) 誕 □(10) 姫
- (11) 離 □(12) 網 □(13) 濃 □(14) 混 □(15) 慮

(9)	(1)
(10)	(2)
(11)	(3)
(12)	(4)
(13)	(5)
(14)	(6)
(15)	(7)
(8)	

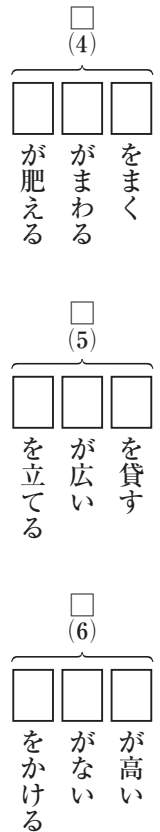
6 次のそれぞれの組の語句の□に共通した体の部分の名称を表す漢字一字を入れ、慣用句を完成させなさい。



7 次のそれぞれの故事から生まれた故事成語を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) ある国の人々が、天が崩れ落ちはしないかと心配して、夜も眠れず、食事も喉を通らなかつた。
- (2) ある男が斧をなくした。どこでなくしたか見当がつかない。そういえば隣の息子が怪しい。外で出会うと逃げるそぶりをする。てっきりあいつだと思いこんでいると、ある日、斧が見つかった。しまった場所を忘れていたのだ。それからは隣の息子に出会っても、おかしい様子は見当たらなかつた。
- (3) 宋の国の農夫が苗の生長の遅いのにじれて、茎を引っぱって伸ばしたので、みんな枯れてしまった。

(1)
(2)
(3)



(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

練成問題

1 次のそれぞれの組の語句の——線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- | | | | | | | |
|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|
| □
(13) | □
(11) | □
(9) | □
(7) | □
(5) | □
(3) | □
(1) |
| ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① |
| 電球のタマを割る。 | タマにきず。 | ピストルのタマ。 | 定員にカける。 | 校庭をカける。 | 橋をカける。 | 人の権利をオカす。 |
| ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① |
| モトの木阿弥。 | 事実をモトに考える。 | 法のモトの平等。 | 人の道をトク。 | 着物の帯をトク。 | 絵の具をトク。 | 鉄砲をウツ。 |
| ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① |
| 病人をカイホウする。 | 校庭をカイホウする。 | 奴隷をカイホウする。 | 品質をホシヨウする。 | 安全ホシヨウ条約。 | 損害をホシヨウする。 | 運賃をセイサンする。 |
| ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① |
| 借金をセイサンする。 | セイサンわれにあり。 | シンチヨウに計画する。 | 意味シンチヨウなことは。 | 洋服をシンチヨウする。 | ボールをウツ。 | 敵をウツ。 |
| ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① |
| 罪人をコウセイさせる。 | コウセイ施設の充実。 | ドウコウ異曲。 | 社会のドウコウ。 | 釣りのドウコウ会。 | 罪をオカす。 | 人の権利をオカす。 |
| ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① | ③ ② ① |
| 同音イギ語。 | イギを唱える。 | イギのある生活。 | 上役のカンシンを買う。 | 美談にカンシンする。 | 政治にカンシンを持つ。 | コウセイな裁判。 |

2 次のそれぞれの漢字を使った下の熟語から読み方の違うものを一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| □
(11) | □
(10) | □
(9) | □
(8) | □
(7) | □
(6) | □
(5) | □
(4) | □
(3) | □
(2) | □
(1) |
| 易(ア) | 工(ア) | 作(ア) | 会(ア) | 役(ア) | 定(ア) | 業(ア) | 素(ア) | 率(ア) | 形(ア) | 体(ア) |
| 交易 | 工面 | 発作 | 会得 | 雑役 | 安定 | 非業 | 素行 | 軽率 | 象形 | 体得 |
| イ | イ | イ | イ | イ | イ | イ | イ | イ | イ | イ |
| 簡易 | 名工 | 作用 | 法会 | 役務 | 定石 | 業病 | 素姓 | 率先 | 形勢 | 具体 |
| ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ |
| 容易 | 起工 | 作為 | 会釈 | 服役 | 定理 | 業苦 | 素顔 | 率直 | 形相 | 体言 |
| 工 | 工 | 工 | 工 | 工 | 工 | 工 | 工 | 工 | 工 | 工 |
| 難易 | 工芸 | 作業 | 機会 | 重役 | 肯定 | 業務 | 素手 | 能率 | 形状 | 体裁 |

(13)	(11)	(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③
(14)	(12)	(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③

(7)	(1)
(8)	(2)
(9)	(3)
(10)	(4)
(11)	(5)
(6)	

3 次のそれぞれの語句の□に入る適切な動物名を(A)群から一つずつ選び、ことわざ・故事成語を完成させ、記号で答えなさい。また、その意味として適切なものを(B)群から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 飼い□に手をかまれる □(2) 借りてきた□
 (3) の威を借る狐 □(4) 藪をつついて□を出す
 (5) 犬と□ □(6) 人間万事塞翁が□
 (7) □を追う者は山を見ず □(8) □に引かれて善光寺参り

- (A)群
 ア 馬 イ 鹿 ウ 犬 エ 猫
 オ 牛 カ 猿 キ 虎 ク 蛇

- (B)群
 ア 極端に仲の悪いこと。
 イ 一つの事に熱中している者は、他のことを顧みる余裕がないということ。
 ウ 自分の意志ではなく、他の者に誘われてたまたま良い結果が得られること。
 エ 力の弱い者が権勢のある者の力に頼り、その陰に隠れて威張ること。
 オ あれこれせんさくして、かえって自分の不利になるようなことを引き出してしまうこと。
 カ いつもと違っておとなしく、小さくなっていること。
 キ ふだん目をかけている者に裏切られること。
 ク 人生では災いがいつ幸福の原因になるかわからず、また、幸福がいつ災いの原因になるかわからないということ。

(5)	(1)
(A)	(A)
(B)	(B)
(6)	(2)
(A)	(A)
(B)	(B)
(7)	(3)
(A)	(A)
(B)	(B)
(8)	(4)
(A)	(A)
(B)	(B)

4 次のそれぞれの語句の□に漢字一字を入れ、四字熟語を完成させ、また、その四字熟語の読み方をひらがなで答えなさい。

- (1) 異□同音 □(2) 一朝一□ □(3) 一日千□
 (4) 我田引□ □(5) 針小□大 □(6) □和雷同

(4)	(1)
(5)	(2)
(6)	(3)

5 次のそれぞれの□に打ち消しの意味を表す漢字一字を入れ、熟語を完成させなさい。

- (1) □得意 □(2) □試験 □(3) □軌道
 (4) □神経 □(5) □始末 □(6) □確認
 (7) □都合 □(8) □造作 □(9) □常識

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

6 次のそれぞれの熟語の対義語を、あとのカタカナから選び、漢字に直して答えなさい。

- (1) 反応 □(2) 普遍 □(3) 総合
 □(4) 目的 □(5) 具体 □(6) 絶対
 (ソウタイ・シユダン・トクシユ・ブンセキ・チュウシヨウ・シゲキ)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
-----	-----	-----	-----	-----	-----

2

小説
(1)

■学習日

/

確認問題

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

〈高橋三千綱「九月の空」より〉

(注) 対峙Ⅱにらみ合っていること。

切っ先Ⅱ竹刀の先。

抜き面Ⅱ相手が打ってくるのに対し、体をかわして相手の竹刀をは
ずし、空を打たせて、そのすきの生じた相手の面を打つこと。

□(1) ※ に入る最も適切なことばを次から選び、記号で答えなさい。

- ア ためいきの出る思いがした
イ 血の気が引くのを感じた
ウ 楽しい思い出がよみがえった
エ 気持ちがひきしまった

□(2) — 線①「北海道の原野で、ぼんやりとくまのしりを眺めている」とあ

りますが、このときと共通していると考えられる勇の心情を簡潔に表して
いることばを、同じ形式段落から六字で書き抜いて答えなさい。

□(3) — 線②「石渡は風だ」とありますが、これは石渡のどのような様子
をとえたものですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア しいに勢いを弱める様子。
イ すばやく身をこなす様子。
ウ ふいに動きをやめる様子。
エ ゆっくり向きを変える様子。

□(4) — 線③「面の奥にひそむ二つの眼に、霧のかかった山あい息づく湖
のような静けさがあるのを勇は感じていた」とありますが、勇は、石渡の
眼をどのようなものとしてとらえたのですか。次から最も適切なものを選
び、記号で答えなさい。

- ア 不気味なほど落ち着きはらっている澄んだ眼。
イ 開放的で元気があり、生き生きと輝いている明るい眼。
ウ 気力をみなぎらせ、相手を圧倒しようとする鋭い眼。
エ 無欲で孤独を楽しんでいるような純粋な眼。

□(5) — 線④「透明な高い壁が立ちふさがっているのを見るような無力感」
とありますが、このような表現は、石渡のどんな強さをとらえたものです
か。本文中から、それが具体的に書かれている一文を探し、その最初の五
字を書き抜いて答えなさい。

練成問題

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈山本周五郎「ながい坂」より〉

□(1) ———線①「こんなことを申し上げてはお怒りを受けるかもしれませんが」とありますが、小三郎が昌治に「こんなこと」を言おうとする理由として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 昌治の期待にこたえられるだけの能力が自分にはまだないと感じていたから。

イ 家来たちの心にわだかまりが生じれば、藩にとって良くないと思っていたから。

ウ 尊大な昌治の側にいつも一人で仕えていることに、いや気がさしていたから。

エ 昌治に、厳しい忠告にも耳を貸すような、立派な人物になってほしかったから。

(2) — 線②「自分を見る人たちの白い目」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

□① 小三郎を白い目で見る人たちの気持ちとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア あこがれ、敬う気持ち。
- イ おそれ、おののく気持ち。
- ウ うらやみ、にくむ気持ち。
- エ 見下し、あなどる気持ち。

□② 「自分を見る人たちの白い目」を感じ取って、小三郎は、どのような決意をしていますか。それが最もはっきりと書かれている一文を本文中から探し、その最初の八字を書き抜いて答えなさい。

□③ — 線③「いつかの時」とありますが、その時、小三郎は、だから何をされたのですか。それを説明した次の文の に入る最も適切なことばを、①は本文中から十字で書き抜いて答え、②はあとから選び、記号で答えなさい。

〈その時、小三郎は、 ① から ② へ。〉

ア 嫌がらせを受けた

イ 剣術の腕を試された

ウ いろいろと質問された

エ 相談事を持ちかけられた

①

②

□④ — 線④「そね(む)」と同じ意味のことばを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ねたむ イ さげすむ
- ウ しいたげる エ みくびる

□⑤ 本文中から読み取れる小三郎についての説明として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分はどうせ藩内のきらわれ者だと開き直って、捨てばちな心境になっている。
- イ 藩主の昌治に気に入られて出世しようと画策し、一生けんめいに努力している。
- ウ 自分の役職にほこりを持ち、他の徒士の子たちに対して優越感をいっている。
- エ 周囲のやつかみに負けることなく、藩のために力をつくそうとしている。